

提出期限：令和7年3月21日(金)

令和 7年 3月 21日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	栗原良樹	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名	
	氏名	所属
活動名	地域おこし協力隊の活動充実に向けた研修会	
連携して活動を行った プラットフォーム加盟機関名	山形県	
活動報告	《活動内容》 昨年に比べて山形県主催の研修会（座学）が充実し、制度や心構えの理解などは進んでいるため、「対話」の経験を通じて、その内生化を進める研修会「地域づくりは“対話”でやろう。～地域おこし協力隊ってななに？～」を開催した。開催地は、山形県内の隊員が参加しやすいよう、山形大学米沢キャンパスおよび山形大学鶴岡キャンパスの2会場で実施した。本研修会では、「協力隊ってななに？」、「うまくいっていること、困っていること」をテーマに、お互い大切にしているポイントやその理由について、参加者同士で“対話”を行うワークショップを実施した。（原則、異なる市町村の職員・隊員との対話）。 《実施した効果》 ・米沢キャンパス開催では6名（隊員5名、行政職員1名）、鶴岡キャンパス開催では6名（隊員4名、行政職員2名）から参加をいただいた。 ・“対話”を通じて、隊員・行政間で生じるコミュニケーションハザードの原因を知るとともに、隊員・行政が有する様々な価値観を外在化された。また、ワークショップを通じて、隊員同士の交流が図られた。 ・研修会後に、隊員や行政職員から個別に相談いただき、隊員や行政との関係構築が進んだ。 ・協力隊員の活動改善や退任減少・定住増加への目に見える効果は確認できないが、県庁が実施している研修会と内容を連携させることで、協力隊員が抱える課題への確かなアプローチができたと考えられ、今後の研修内容へ反映を検討している。 ・NHKおよびケーブルテレビNCVから取材を受け、協力隊の抱える課題や解消に向けた取り組みを紹介できた。	

(裏面あり)

実施スケジュール	《スケジュール》 ・令和6年11月：研修会 山形大学米沢キャンパス開催 ・令和6年12月：研修会 山形大学鶴岡キャンパス開催						
支援金の用途報告	合計 100,121 円						
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	謝金	協力隊員OB・OG	10.5	×	5,500	=	57,750円
	謝金	AA	32	×	955	=	30,560円
	旅費	県庁	1	×	8,800	=	8,800円
	旅費	米沢キャンパス	1	×	1,100	=	1,100円
	飲食物	おかし、お茶など	1	×	1,911	=	1,911円
次年度の計画について	県庁が実施している研修会と内容を連携させることで、協力隊員が抱える課題への確なアプローチができたと考えられ、今後もその内容を反映した研修会の実施を検討している。						
本事業へのご意見・要望	継続的な助成事業であるとありがたいです。						
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。							

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyouyou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp